

広報 林中まちづくり委員会

第5号 (令和6年12月発行)

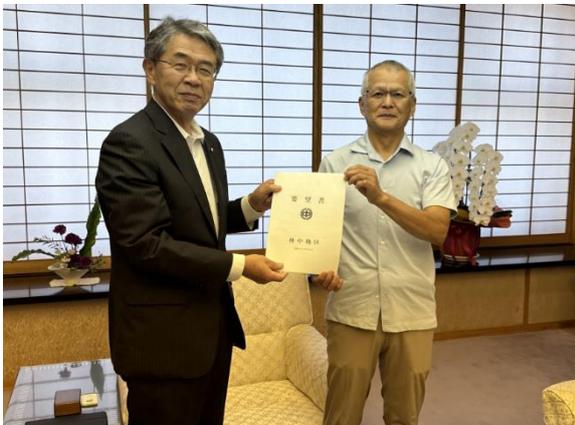
林中地区の皆様には常日頃より「林中まちづくり委員会」へのご理解とご協力を賜りありがとうございます。おかげさまで今年度も白山市への要望書提出をはじめ、地域貢献として我々に何ができるのかを考えて活動を行う事が出来ました。

地区環境の改善を求め市長への要望を行っておりますが、なかなか思うように我々の要望が実現できない状況が続いております。しかし、そのような中、地域の環境改善につながる一步を踏み出したものもあります。

一つは一昨年の「集落のまちづくり開発制度」の学びから、菅波町において白地農地の宅地化という新しいまちづくり計画が進んでいます。

この計画が実現することによって人口減少や少子高齢化といった地域の課題解消の一翼を担うことでしょう。

また、地域を横断する東西道路に関して、当地区を含む沿線関係者による道路整備促進期成同盟会が発足したことから今後の展開に期待がもたれます。



市長への要望書提出



要望風景

林中まちづくり委員会から市への要望事項とその回答

1 林中コミュニティセンター建設について

- ・ 計画的に進行中

長きにわたり市へ要望を行ってきましたが、市からの回答書によれば築後 40 年を経たコミュニティセンターから立地条件等を考慮しながら順次整備計画を進めているとの事でした。昨年 9 月議会で吉本市議がこの件について質問を行っていますが、市側の答弁からかなり進んだ状況になっています。

林中地区としては建設実現に向け建設委員会の設立など準備が急がれます。



- ・ 高度な防災機能の必要性

能登半島地震や豪雨災害を見るにつけ新しいコミュニティセンターは耐震化された上下水道設備、大型ドローン発着場等のさらなる高度防災機能を備える事が必要だと思われれます。加えて建設場所は旧 JA 松任松南支店跡地の予定ですが、現コミュニティセンター敷地を駐車場として整備されることも併せて要望していきます。

2 市道五器山線から市道末松徳光線への円滑なアクセス機能確保について

- ・ 緊急車両の迅速な対応も視野に

現在整備を要望している上二口町東側の道路が 2 号市道という事もあり、この区間をアスファルト舗装する事も選択肢に入れて要望を継続していく予定です。

これにより消防車や救急車等の緊急車両が上二口町内を通過することなく当地区内も含め迅速な対応が期待できます。



3 防災及び観光としての東西幹線道路の新設要望

- ・ 広い視野を持つての提案

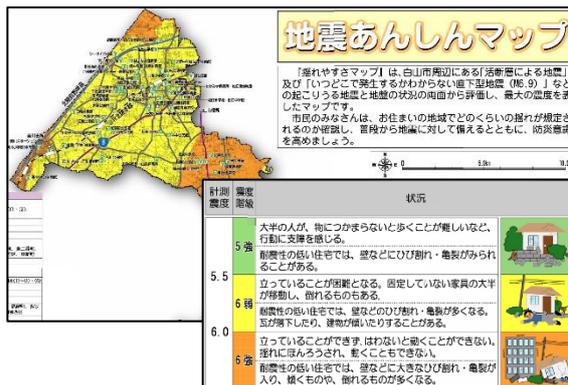
現在当地区では、朝夕の通勤時間帯において交通量の緩和が望まれる箇所があります。当然この状況を改善すべきことではあります。

さらに広い視野を持って要望を行うことも大事だと考えています。

例えば能登半島地震時の避難に既存の東西道路が激しい渋滞が発生しました。災害避難も考慮した東西道路の新設整備を提案する事も考えられます。

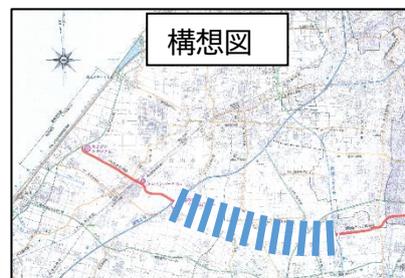
これによって各所の交通量の緩和も期待できます。

また、田村市長からは津波による海側からの避難も想定されるが富樫断層による地震が起きた場合には、山側から海側への避難にも必要になるであろうとの提案も頂いております。



- ・ 道路整備促進期成同盟会の発足

正式名称「一般県道松本木津線及び米永松本線道路整備促進期成同盟会」が本年 5 月に設立されました。大部分が当地区を通ることになるので要望事項の進展を期待しています。



4 松南小学校への通学路の安全確保

- ・ 歩道の新設整備

現在坊丸町から乙丸町を通り小学校まで通学するには頻繁に道路を横断する状況にあります。

特に県道を横断後には小学校側には歩道が整備されていないために市道西側へ横断し校舎前で再度横断しなくてはなりません。

この状況を改善するために校舎側歩道の新設を要望しています。



市側からはグリーンベルトや転落防止柵も設置済みとして対応は難しいとの回答ですのでPTAも含めて引き続き要望してまいります。

5 林中保育園跡地について

現在跡地の一部でグループホームが開設されています。残りの跡地については雑草対策など景観を保持しながら新しい施設開設に向けて前向きに要望をしておりますので皆様からのご理解ご協力をお願いいたします。



6 まちづくり開発制度について

- ・高齢化率を下げ児童数回復への期待を込めて

町内に存在する白地農地の宅地開発により新しい住民を迎え、活性化を図る試みが菅波町で進んでいます。2年前にまちづくり委員会で開催した「まちかど市民講座」が始まりとなっています。これにより近年児童数が減り学年あたり3クラスから2クラスになっている松南小学校の児童数減少にも歯止めがかかればと期待しています。

最後に

林中まちづくり委員会の活動は目に見えるほど劇的に何かが変わっていくわけではありません。得られる成果は微々たるものかもしれませんが、ほんの少しでも地域住民の笑顔に繋がれば、との思いで活動を続けています。

これからも市への要望と地区内の振興発展、安心して暮らせる福祉の向上、活発なコミュニケーションが図られるように活動をしてまいります。

林中まちづくり委員会一同